

安積高校と郡山市の連携による「SS 探究 I : 地域共創探究」授業  
安積高校と地域課題解決に向けた連携事業をスタート！  
郡山市役所職員によるプレゼン大会を開催します



2026年5月14日  
郡山市政策開発部  
未来創造課  
課長：鈴木 七子  
TEL：924-2028

SDGs ターゲット 17.17 - 「効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

福島県立安積高等学校と郡山市が連携して実施している「SS 探究 I : 地域共創探究」授業において、1年次の生徒が探究する地域課題のテーマを選択するために、郡山市役所職員が各テーマの説明とPRを行うプレゼン大会を開催します。

- 1 日時 5月20日(水) 13:00 ~ 14:35
- 2 会場 福島県立安積中学校内 安積野ホール(郡山市開成5丁目25-63)
- 3 テーマ概要
  - (1) より効果的な市政情報の広報について
  - (2) ラムサール条約登録後の猪苗代湖の魅力発信について
  - (3) 音楽都市の推進
  - (4) SDGsの周知と発信のあり方について
  - (5) 未来の自分はどこで暮らす? ~郡山Uターン計画~
  - (6) 居心地が良く歩きたくなるまちなかづくり
  - (7) ごみ減量に向けた取組



昨年度のプレゼン大会の様子

#### <安積高等学校と郡山市の連携による「SS 探究 I : 地域共創探究」授業>

福島県立安積高等学校と郡山市は、地域課題解決に向けた調査研究を学生自らが主体的に行い、解決策を市に提案することを通じ、地域で活躍できる人材の育成を図ることなどを目的として「SS 探究 I : 地域共創探究」授業を令和6年度から連携して実施しており、今年度は7つのテーマに分かれ、班ごとにその課題に対する解決策や政策提言を行う全14回の授業を予定しています。

##### ◆ 授業概要

- (1) 授業名 SS 探究 I : 地域共創探究
- (2) 実施日 2026年5月~2027年1月、各月およそ1回2時間程度
- (3) 場所 安積高等学校内教室
- (4) 対象者 1年生280人

##### ◆ 市職員の関わり方

授業への参加、情報提供、意見交換、相談対応

##### ◆ SSHとは

・文部科学省は、将来の国際的な科学技術人材の育成を図るため、平成14年度より科学技術・理科・数学教育に関する研究開発等を行う高等学校等を「スーパーサイエンスハイスクール



(SSH)」に指定し、理科・数学等に重点を置いたカリキュラムの開発や大学等との連携による先進的な理数系教育を実施しており、安積高等学校は令和6年度よりSSHのⅢ期指定を受けております。

・安積中・高SSHブログ <https://asaka-h.fcs.ed.jp/SSH/SSH1>

